

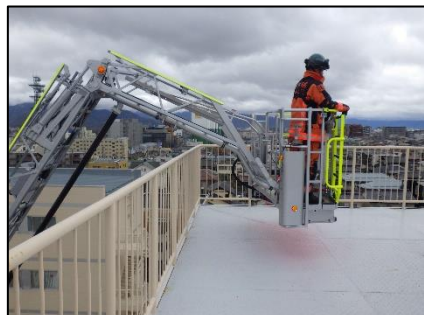
先端屈折式 35mはしご車について

このはしご車は、令和6年3月26日に納入され、5月1日から運用を開始しています。

このはしご車の特徴は、梯子の先端部分が屈折することで空中線の障害を回避して建物に架梯することが可能となり、屋上などでは内部まで梯子を入れ込むことでより安全に要救助者を救出することが可能となりました。また、先端のバスケットも大型化し、最大で400kg（大人4名以上）まで搭乗可能となりました。さらに、梯子から放水する際、これまでのはしご車は梯子に沿ってホースを結合し先端まで送水していましたが、このはしご車には伸縮する送水用の配管が装備されているため、より迅速に放水を開始することが可能となりました。

★35mはしご車（先端屈折式）の諸元

はしごの長さ	全短縮	約 10.6m	
	全伸長	約 34.6m	
	先端屈折部	約 3m(バスケット含む)	
起伏角度	-10度~75度		
最大傾斜矯正角度	11度		
最大地上高（角度75度・全伸長時）	約 35.5m		
最大許容積載荷重	バスケット	400kg	
最大許容範囲（作業半径）			※バスケットの許容荷重を変更することで作業半径が変わります。活動中でも変更が可能です。
バスケット荷重	180kg時作業半径	約 15m	
	270kg時作業半径	約 14m	
	400kg時作業半径	約 10m	



大型のバスケット
ストレッチャーの吊り下げも可能



伸縮する送水用配管による梯上放水が可能

